

かしこくカーライフを楽しむためのコミュニケーションペーパー

## Keeper Fan!!

## 2012 SUPER GT レポート

SUPER GTとは… 2005年にスタートしたレースカテゴリー。トヨタ、日産、ホンダ等、各自動車メーカーの誇る市販スポーツカーをベースとして作られたマシンによって競われるレースで、国内モータースポーツの中では一番人気。レースはGT500、GT300の2クラス混走で争われ、各クラスの車両規定のほか、レース成績によってウエイトハンデが課せられ、常に接近した迫力あるレースが展開される。



8/18(土)・19(日)

第5戦 鈴鹿サーキット

国本・アンドレア快挙!!  
GT500デビューイヤーでは、初の表彰台!

## Q2で敗退、ユーズドタイヤで挑む

SUPER GTシリーズでも最長となる1,000kmの大会はまさに「耐久レース」であり、マシン、ドライバー、クルーの全ての力が試される。気温の上昇と共にお客様の興奮も最高潮へと達する中、決勝レースがスタート。長丁場のレース、スタートからムリをするマシンはなく、まずは全車無難にオープニングラップを消化。予選はQ2で敗退、9番手からのスタートとなった「KeepPer Kraft SC430」のスタートドライバーはアンドレア。Q2で敗退してしまっただけでなく、Q2で使ったタイヤをスタートで装着しなければならず、いきなりハンデを背負ってスタートしなければいけなくなった訳だが、アンドレアはタイヤを労りつつクレバーに周回を重ね、上位に付いて行く。4周を過ぎる頃、2位～9位のアンドレアまで団子状態での走行となるが、#38がコースアウト!8位へとポジションを上げると今度は#36のタイヤがバースト!7位へと浮上する。23周目には#6のピットイン、続いて#23のピットインで5番手へ!心配されたタイヤもコンディションは変わらず、29周まで走行を続け1回目のルーティンピットストップ。

## 他マシンのクラッシュ、バーストでトップへ!!

アンドレアから国本へと交代しピットアウト37周目で7番手とまずまずの展開。51周目、#6がタイヤバーストでスロー走行となり6位へ、続いて#23がピットインし5位へ!さらにポジションをあげるかと思われた61周目、ヘアピンコーナーで300クラスの大

きなクラッシュがありセーフティカー(SC)が導入!64周目ルーティンのストップで国本はピットへ!再びドライバーをアンドレアへと交代しコースへと復帰。カルダレリは6位を走行。#1、#12がピットインし4位と着実に上位を走る展開。80周目、#23のピットインと#18のタイヤバーストによるスロー走行でついに2位へと浮上。続く93周目、トップを行く#17にもタイヤバーストの悪夢が襲いかかり、ついに暫定トップに踊りだ!

## じわじわと追い上げ、残り12週の激戦

94周目ルーティンのピットストップで国本へとドライバーチェンジ。迎えた100周目、各車ルーティンが終わったところで6位。各車のピットインでじわじわと順位を上げ2位まで駆け上がる。

123周目、これが最後の担当スタントとなるアンドレアに交代。139周目でポジションは4位、いよいよ表彰台圏内が見える展開だ。142周目で2位に浮上し、148周目ついに最後のピットストップを迎え国本へとドライバーチェンジ!

路面温度の下がり具合と残り周回数を考え、ギリギリの選択ではあったが最後のタイヤをソフトコンパウンドで勝負を掛けることに!6位から151周目で#17、#24がピットインし4位へ。いよいよ表彰台が見えて来たと思った157周目、130Rの先でマシンがバラバラになる程の大きなクラッシュが発生!すぐにSCが導入され4周に渡るセーフティカーランの後、残り12週の超スプリントバトルが勃発!



## 国本、気迫の走りで2位へ!

セーフティカーランの影響により前後の車との差が全くなり、リスタートからまさにガチンコ勝負。ここから国本の気迫のオーバーテイクショーが始まり、まずは163周目、最終コーナーで#12をロックオンした国本は1コーナーで見事にパスをしてついに3位へ!これでハートに火が付いた国本は165周目2位を行く#23を射程圏内と詰め寄り、迎えた167周目、なんと超高速の130Rのインを刺し豪快にオーバーテイク!見事に2位へ浮上!優勝を諦めることなくさらに気迫の走りで9秒前を行く#1を追いかけるが、わずかに周回が足りず。「KeepPer Kraft SC430」は2位表彰台でチェッカーを受けることとなった。



9/8(土)・9(日)

## 第6戦 富士スピードウェイ 予選3位、好調続くも不運なアクシデントで7位に終わる



## アンドレア、好スタートで3位

予選では見事、今季最上位の3番グリッドを獲得。決勝レース当日、朝から好天に恵まれたこともあり、富士のグランドスタンドには大勢のSUPER GTファンが駆けつけ、熱気に包まれた雰囲気の中スタート!今回もスタートドライバーを務めるのはアンドレア。好スタートを決め無事に3位で1コーナーをクリア。

## 予期せぬ不運が襲う

序盤は前を行く#1のGT-Rにピタリと付け

る作戦だが、アンドレアはタイヤを労りつつも無理なく#1に付けチャンス伺う展開。徐々に後ろの#36との間隔も安定し、さてここからという6周目、最終コーナーのアウト側からGT300クラスをオーバーテイクしようとした瞬間、なんとこの300クラスのマシンがハーフスピン!アンドレアの右リアに接触しアンドレアもたまらずスピン!直ぐにコースへと復帰をするが…不運にもこの影響でポジションは10位までダウン!

## アンドレア、怒濤の走りで3位まで追い上げる

ここからアンドレアの怒濤のリカバリーラップが始まり、10周目にまずは#39と#36をまとめて仕留め8位へとポジションを上げると、続く11周目には#38と#100を仕留め、なんと2周で4台ものマシンをごぼう抜きするという驚異の追い上げを見せるア

ンドレア。29周目に4位、32周目には3位と順位を上げ、迎えた33周目、ポジション3位で国本へとドライバー交代。

## 粘る国本、しかし…

34周目、上位の順位が落ちていたところで7位。#3の前を行く#23にペナルティストップが出た関係で6位へと順位を上げる。前を行く#17と後ろから追ってくる#38との間隔はほぼ均等し、50周を過ぎるあたりまでは、しばし膠着状態となるが#17との差は徐々に縮まっていく。60周を過ぎるとさすがに国本のタイヤも厳しくなってきた

か、#38に代わり国本の後ろへと迫ってきた#39。ギリギリで我慢する国本だが、残念ながら最終ラップのネットコーナーで僅かにインを刺され、7位へとポジションダウン。着実にポイントは重ねるも悔しさの残るレース結果となった。



『KeepPer Racing Project』facebook公式ページ facebook

http://www.facebook.com/KeepPerRacingProject

いいね!を押して、応援をよろしくお願いします!